

令和4年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業 わかさわんクラフトマルシェ

令和4年11月13日(日)

令和4年度 地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

わかさわんクラフトマルシェ

体験の風をおこそう

2022 11/13 sun 10:00~15:00

出店一覧

体験ブース	飲食ブース
●勾玉作り (若狭三方地文博物館)	●Café MIROKU
●レザークラフト (福井県立三方青年の家)	●marQ coffee
●貝殻クラフト (福井県海浜自然センター)	●たがらす我袖倶楽部
●木の本立て作り (福井県浜田三州農科部)	●田舎 ひびき家
●海ごみアート作り (国立若狭湾青少年自然の家)	●野戦会
●野菜スタンプ (かみなが農業舎)	●自然の家食堂 (コンパスグループ・ジャパン(株)若狭商店)
●オリジナル絵本作り (まるまデザインワークス)	●備南東特別支援学校 高等部 (遠近協力)
●竹編工 (ハッペ家族旅行村)	
●ひょうたんライト作り (が子封向づくり)	
●アート鑑み体験 (まなびの森)	
●絵本の読み聞かせ (読み聞かせボランティアに詳しい)	
●遊びリンピック (国立若狭湾青少年自然の家)	

場所 国立若狭湾青少年自然の家 (福井県小浜市田島区大浜)

参加費 1人100円(傷害保険料) *一部の体験・飲食は別途料金が必要です

対象 未就学児・小学生などを含めたご家族 300名程度

お申込 右のQRコードからお申込みください *11/6 12:00×切 *応募者多数の場合は、先着順とします

【主催】国立若狭湾青少年自然の家 【協賛】若狭ロータリークラブ (企画・運営) 福井県「体験の風をおこそう」実行委員会

担当：須藤(まどう)・島田(しまだ) 0977054-3100 Mail: wakasawan-j@niye.go.jp

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



開会式



ロボット操作



組子細工



本立て作り



野菜スタンプ



海ごみアート

1. 目的

- ・親子を対象とし、クラフト活動、遊びリンピック活動、読書活動等を通して、体験や対話を通じて親子で過ごす場を提供する。
- ・体験がいかに重要であるかを広く家庭に伝え、日常生活に体験活動を取り入れるきっかけづくりの場とする。
- ・若狭地域の団体を中心に招聘し、各団体と当施設の関係づくりの場とする。
- ・出展団体・参加者・職員が双方向に交流をする事で、当施設が地域と人をつなぐ役割を担い、施設の認知度向上や今後の施設利用につなげていく。

2. 参加実績

75 家族 250 名(未就学児 51 名、小学生 80 名、中学生 2 名、保護者 117 名)

※申し込み後キャンセル 11 家族 57 名

3. 日程(日帰り)

	9:15	10:00	10:10	15:00
11/13(日)	受付	開会式	クラフト・体験ブース	終了

4. 参加者の声(アンケートより一部抜粋) 75 家族中 42 家族回答(56%)

◇イベント全体に対する満足度

- ・多種多様な体験、飲食ブースがあり、1日中楽しめて良かったです。
- ・色々な体験ができるイベントは貴重なので続けて欲しい
- ・子供がいろんなことに体験できてとても喜んでいました。また絶対行きたいと言っています。
- ・広い館内で、様々な体験を探し歩くのも子どもには楽しく、またいろいろな技術を持つ大人と出会えるとても良いイベントでした。子どもに楽しんで学んでもらえることは、教える側の大人にもいい経験になります。

◇プログラム(体験ブース、飲食ブース)に関すること

(体験)

- ・小さい子供でもスタッフの方々が優しく教えてくれたので安心でした。
 - ・有料でもいいので、たくさんの体験ができるとよい
 - ・選択肢が多く、また難易度が幅広かったのが良かったと思いました。
- 「自分でやってみよう、やってみたい」と思わせる体験ブースもあり、親としてはこどもの成長を感じる事もできました。
- ▲体験したかったブースもあったのですが、材料が無くなったのか出来なかったものもありました。
 - ▲時間指定の体験は予約の可否、昼はやらない(休憩の為、体験が出来ない)等、前もってわかると良い。
 - ▲野外でできるブースもあるとよかった。

(飲食)

- ・食堂のメニューは、子どもが喜ぶものばかりで良かった。加えて地域の方が色々出してくださっていることが良かったです。会話も楽しく、美味しく満足です。
 - ・寒いのであたたかい食べ物がありよかったです。
- ▲アレルギーの表示が欲しい。食事の持参可はありがたいが、アレルギー持ちでも選択できるメニューがいくつかあると助かります。
 - ▲もう少し種類、出店があるといいと思う。

◇運営に関する満足度

- ・事前に予約が必要なブース、体験時間などの紙を郵送してもらえたので、どう回るか考えられ、当日スムーズにやりたい体験ができました。
 - ・大きなイベント、広い会場でしたが、隅々まで配慮されていて特に不満はなかったです。
 - ・あれだけのブースがあるのはすごいと思いました。どれだけどんな準備が必要なのでしょうか? 沢山時間をかけて用意してくださったのかなと頭が下がります。
- ▲個数が少ないものがあり、事前に体験人数を伝えてもらえると、体験したい人は助かると思います。
 - ▲どこでどんな体験が出来るのかが、いまひとつ把握しにくい。当日前のチラシもそうで、どんな事ができるのか、もう少し分かりやすくしてもらいたかった。
 - ▲2時半ごろから片付けしているブースが多々あったのはちょっと残念でした。また、大人が工作するせいで、他の子どもが品切れでできなくなっている様子は残念でした。体験は子ども限定で、大人は補助のみとするほうがいいのではないかと思いました。

◇職員の対応に関する満足度

- ・皆さんいつも優しく声をかけてくださってありがたいです。物をなくしたときも、すぐに無線で情報共有、捜索して下さり、とても嬉しかったです。
- ・いつも丁寧で嫌な思いをした事はありません。
- ・声をかけてくださる職員みなさん親切で、内弁慶な子どもたちも安心して、あちこち回ることができました。
- ・職員の方々が、子どもたちとすれ違う際に声をかけて下さり、子どもたちの作った作品についてちゃんとコメントをしている姿を何度も見かけ、子どもたちと向き合う姿がとても印象的でした。
- ・遊びリンピックで頂いたメダルを褒めて頂いて、息子は誇らしそうでした。帰り道も帰宅後も着替えるまでずっと大切に身につけておりました。

◇親子での時間を楽しめたエピソード

- ・オリジナル絵本づくりのとき、こんな話にしたい〜!という子どもの話を聞きながら絵と一緒に探し、出来上がったお話を読み聞かせしてもらい、楽しい時間を過ごせました。
- ・子どもが描いたラテアートを親が美味しくいただきました!
- ・一緒にゴミアートをして、海ゴミの話ができました
- ・子供が全部の体験を本当に楽しそうにしているので見ているだけでとても嬉しい気持ちになりました。
- ・もの作り中も食べているときも、こんなにふたりで会話するのは久しぶりかも?と思うほど毎日忙しくしていました。年に数回しかない日曜日のお休みに、子どもと一緒に過ごす大事な時間となりました。
- ・親も子どもやりたいと思っていた野菜スタンプは、親子揃って体験でき、やりながらどれがどんな形なのか話しながら楽しく出来てとても良かったです。
- ・本棚や筆掛けを作る時に、共同作業で楽しめました。子供の真剣な顔や楽しそうな笑顔を見られて良かったです。
- ・子供は集中して色々作り、楽しかった〜と何度もいい、完全燃焼で車に乗ったらストンと寝ていました。あんなに満足げにずっと寝ることはほぼないことなので、子供の充実度の深さが伺い知れました。体を動かすだけの時とはまた違う、楽しみや、疲れや、充足を味わったのかなと感じました。
- ・空いた時間で海岸に出て貝殻拾いをしました。今年は海に行けなかったのが、若狭湾のきれいな海も見られて、とても貴重な体験でした。

◇その他

- ・姉妹で年齢が離れているのでなかなか一緒に楽しめる施設がないのですが、今回のイベントは姉妹一緒に出来ることも色々あったし、姉妹で別れて違う体験もでき、とても充実した1日が過ごせました。
- ・またいろんなイベントお願いします。今回のように、人数制限がゆるいとありがたいです。
- ・帰ってからも作ったものを一つひとつ嬉しそうに見ていましたが、遊びリンピックのことを日記には書いていました。色々な体験ができ、とても充実した1日を過ごすことができました。
- ・程よい広さで子どもたちそれぞれが自由に動いても不安がなく良かった。そのおかげで、弟が兄に頼らず自分だけで作業できていたのも印象的だった。
- ・最初のころはやりたい体験があってもなかなか声をかけられずに、私に頼っていましたが、自分から声をかけたり、わからないと聞きに行くことができるようになりうれしいです。

5. 成果

- ・感染症対策を行いながら、感染症流行以前の水準に募集人数を設定し、集客することができた。参加者からも「人数制限にゆとりがあり参加しやすくてうれしい。」といった声が聞かれた。
- ・参加理由で「子どもにいろいろな体験をさせたかった」という意見が最も多く、ニーズに合ったイベントを企画することができている。
- ・親子で体験活動に親しむ機会を提供することができ、アンケート内では、すべての家族が今後も日常生活にモノづくりや読書活動を取り入れてみようと思うと回答した。体験活動を導入する意欲向上につなげることができた。
- ・参加者からは、ブースの内容、事業の運営、職員の対応など、満足の声が多く挙がった。
- ・主に県内の嶺南地域から出展者を招聘し、地域密着の事業にすることができた。
- ・今年新たに県内の学校・企業とも連携し、イベントを運営することができ、それぞれの出展者の取り組みや存在を参加者に紹介するなど、当施設がハブ機能となった。

6. 事業運営のツボ・工夫・反省

- 感染対策を取りながら運営し、事業の目的を概ね達成できた。
- 受付スペース混雑回避のため、健康状況調査はWEB回答を可能とした。
- △体験の材料が早々になくなってしまうブースがあり、参加者が十分に体験できないものがあった。
- △時間制で予約が必要なブースがいくつかあったが、いつどのタイミングで予約可能かわかりにくいものがあり、参加者が予約しにくい状況があった。
- △15時までの実施時間ではあるが、14時半頃には店じまいとなるブースやお店があり、参加者が最後まで体験できない状況があった。